
XML 技術者の上位認定制度「XML マスター：プロフェッショナル」 11 月よりスタート

～ XML を実際のシステム開発に活かすことのできる高度な技術レベルを認定～

XML 技術者育成推進委員会（事務局：東京都品川区、会長：斎藤信男慶應義塾大学常任理事兼 W3C Associate Chairperson 以下「委員会」）は、実際のシステム構築に必須のスキルを習得した XML の技術者育成をさらに推進するため、XML 技術に関する上位認定制度「XML マスター（エックスエムエル・マスター）：プロフェッショナル」を 2002 年 11 月より開始することを発表しました。

XML は、企業間電子商取引やアプリケーション間連携、電子申請、文書管理システムなど、さまざまな分野で活用され始め、本格的な普及期に入ってきています。単に XML の知識があるだけでなく、実際の現場で使える高度な技術を習得した技術者が必要となってきました。このような背景を受け、XML 技術者育成推進委員会では、「XML マスター：ベーシック」の上位技術者認定制度である「XML マスター：プロフェッショナル」を開始する運びとなりました。

「XML マスター：プロフェッショナル」では、XML の基礎スキルを前提として、実際の XML データの処理やプログラミング、およびインターフェイスの新しい標準として今後普及が見込まれる Web サービスなどの高度な技術力を認定します。

「XML マスター：プロフェッショナル」を取得するには、2001 年 10 月よりすでに実施している基礎レベルの XML 技術者認定制度「XML マスター：ベーシック」の試験と、2002 年 11 月より開始する「XML マスター：プロフェッショナル」の試験の両方に合格することが条件となります。「XML マスター：ベーシック」では、XML およびその関連の標準仕様について、その用語、概念を正しく理解していること、XML によるデータの作成を標準仕様に基づき行うことができることなどといった XML の基礎レベルでの知識を必要としますが、「XML マスター：プロフェッショナル」では、XML 処理システムの構築概要、XSLT、DOM プログラミング、SAX プログラミング、Web サービス概要といった、現場のシステム構築時に必要とされるより高度な知識が必要となります。なお、両試験の同時受験も可能です。

「XML マスター：プロフェッショナル」の認定試験は、従来の「XML マスター：ベーシック」と同様、アールプロメトリック社の全国 100 会場を超えるテストセンターにて 11 月より開始され、希望者は受験会場の営業日にいつでも受験することができます。試験は 1 科目 50 問で 8 割の正解で合格となり、受験料は 1 万 5,000 円（税別）です。

上位認定制度「XML マスター：プロフェッショナル」の開始により、BtoB や e-Japan 構想をはじめとするさまざまなシステム構築に必要とされる XML の高度な技術者の育成に貢献します。

「XML マスター：プロフェッショナル」概要

認定内容：

XML の基礎として、XML とは何か、動向や概要、XML の構造についての基礎知識（XML マスター：ベーシックの範囲）をベースとして、DOM や SAX などを使用した XML アプリケーションの開発、XML の応用技術 Web サービス、さらに XML のセキュリティ関係の技術など、XML をエンジニアリングの現場で活用するために必要な技術を理解・習得しているかどうかを試験によって評価するものです。

認定取得のメリット

「XML マスター」技術者認定制度で、技術者個人個人の XML に関する技術力が強化・明示化されることにより、認定技術者は XML 技術に関する知識と経験に対して社内や業界から高い評価を受けることができると同時に、「XML マスター：プロフェッショナル」認定技術者を擁する企業は、XML 関連サービスに関する顧客への技術レベル提示などを通じて顧客満足度向上に貢献することができます。

開始時期： 2002 年 11 月

試験概要

- ・試験範囲： XML 処理システムの構築概要 / XSLT / DOM プログラミング / SAX プログラミング / Web サービス概要等
- ・合否判定： 8 割以上の正解で合格
- ・出題数： 50 問
- ・受験料： 1 万 5,000 円（税別）

受験可能な場所：全国のオールプロメトリック試験会場 国内約 100 会場

<http://www.prometric-jp.com/>

正式な試験開始日、試験時間等の詳細は、決まり次第、XML マスターの Web サイト (<http://www.xmlmaster.org>)にてご案内します。

XML マスターについて

『XML マスター』は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に発足された認定制度です。現場で役に立つ XML 技術者の育成のための適切な試験範囲と問題内容の審査を行う諮問機関として XML 技術者育成推進委員会が存在します。『XML マスター』の称号により、XML 技術力に対する確かな指標を提供し、現在各分野で深刻化している幅広い知識を持った XML 技術者の不足という問題の解決を促進します。

詳細はこちら：<http://www.xmlmaster.org/>

XML 技術者育成推進委員会について

XML 技術者育成推進委員会は、以下の企業および団体によって構成されます。

- ・XMLコンソーシアム

(会長：鶴保 征城 NTT ソフトウェア株式会社 代表取締役社長、会員企業：247 社)

- ・外資系情報産業研究会 (略称：FIIF)

(会長：渡辺 邦昭 キャリアクエストクラブ 代表取締役社長、会員企業：36社)

- ・インフォテリア株式会社 (本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野 洋一郎)

- ・NECソフト株式会社 (本社：東京都江東区、代表取締役社長：関 隆明)

- ・株式会社大塚商会 (本社：東京都千代田区、取締役社長：大塚 裕司)

- ・キャノンソフトウェア株式会社 (本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田 明)

- ・グローバル ナレッジ ネットワーク株式会社 (本社：東京都新宿区、代表取締役社長：尾藤 伸一)

- ・シーアイエス株式会社 (東京都港区、代表取締役社長：戸高 修)

- ・株式会社日立システムアンドサービス (本社：東京都大田区、社長：名内 泰藏)

- ・株式会社日立製作所 (本社：東京都千代田区、取締役社長：庄山 悦彦)

- ・株式会社P F U (東京本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：片野 英司)

- ・日本電気株式会社 (本社：東京都港区、代表取締役社長：西垣 浩司)

- ・富士通株式会社 (本社：東京都千代田区、社長：秋草 直之)

<お問い合わせ先>

XML技術者育成推進委員会事務局 (インフォテリア内)

office@xmlmaster.org (電子メール)

<http://www.xmlmaster.org/> (ウェブサイト)

大橋 (広報担当)

以上

XML マスター：プロフェッショナルへの賛同支援を表明いただいている団体および企業

(50音順 / 敬称略)

詳細は、XML マスター ホームページ <http://www.xmlmaster.org/> に掲載の賛同コメントをご参照下さい。

団体名	会員社数	役職	企業名	氏名
XML コンソーシアム	247 社	会長	NTTソフトウェア株式会社 代表取締役社長	鶴保 征城
外資系情報産業研究会	36 社	会長	キャリアクエストクラブ 代表取締役社長	渡辺 邦明

社名	部署名	役職名	氏名
株式会社アットマーク・アイティ		代表取締役	藤村 厚夫
株式会社イー・ブリッジ		取締役コンサルティング 本部長	岡部 恵造
インフォテリア株式会社		代表取締役社長	平野 洋一郎
株式会社ウチダ人材開発センター		代表取締役副社長	高橋 哲夫
NRトレーニングネットワーク株式会社		代表取締役社長	杉山 由高
NEC		Eラーニング事業部長	奥 峰夫
NECソフト株式会社	i サービス事業部	事業部長	堀江 進
株式会社大塚商会		取締役 Web 事業推進部長	塩川 公男
株式会社キャリアデザインセンター	『エンジニア type』	編集長	鈴木 義男
グローバルハッツネットワーク株式会社		代表取締役社長	尾藤 伸一
サン・マイクロシステムズ株式会社	iForce 推進統括部 ディレクション	部長	刀根 繁
シーアイエス株式会社	ナレッジアカデミー	統括	開沼 広明
株式会社システム・テクノロジー・アイ		代表取締役社長	松岡 秀紀
スルガ銀行		執行役員 ダイレクトバンク支配人	森 延夫
株式会社セレブレイン		代表取締役社長	高橋 敦子
株式会社東芝OAコンサルタント		代表取締役社長	宮西 亮
日本アイ・ビー・エム株式会社	ソフトウェア事業部	マーケティング・テクノロジー 部長	田原 春美
日本オラクル株式会社		執行役員 ディレクションサービス本部長	武井 直
日本ヒューレット・パッカー株式会社	hp 教育サービス事業本部	本部長	長坂 武夫
株式会社日本ライセンスバンク		代表取締役	松田 直之
株式会社パソナテック		代表取締役	森本 宏一
株式会社PFU		専務取締役	岡松 正憲
株式会社 日立システムサービス	事業企画部	部長	石井 清
株式会社日立製作所	情報・通信グループ 生産技術本部	本部長	原田 晃
富士通株式会社	ソフトウェア事業本部	プロジェクト A-XML プロジェクト長	弘末 清悟
富士通オフィス機器株式会社		代表取締役社長	松尾 好洋
株式会社富士通ラーニングメディア		取締役 研修事業本部長	今井 恒雄
マイクロソフト株式会社	社長室	執行役員	三ヶ野原 敏郎
株式会社リクルート	『TECH B-ing』編集部	編集長	藤井 薫

XML技術者認定制度への賛同表明コメント

(団体名および企業名は各50音順)

XMLコンソーシアム 会長 鶴保 征城 氏 (NTTソフトウェア 代表取締役社長)

XMLコンソーシアムは、XMLマスターの上位認定である『XMLマスター：プロフェッショナル』の発表を歓迎し、普及を支援してまいります。XMLコンソーシアムでは、コンソーシアム内でのXML普及啓蒙活動に加えて、関連団体でのXML普及啓蒙にも力をいれており、その一環としてXMLマスターの普及を支援してまいりました。結果として、XMLマスターは、昨年10月の開始から着実に取得者を増やしており、また今回の上位レベル認定の開始により、不足が叫ばれているXML技術者の育成に大きく役立つものと期待しております。

外資系情報産業研究会 (F I I F) 会長 渡辺 邦明 氏

(キャリアクエストクラブ 代表取締役社長)

F I I Fは、以前より「塾i Change Nippon」や「実践大学」など、IT産業を中心とした人材育成に大きな力を注いで来ました。その一環として、XMLマスターも発起人の一団体として推進啓蒙してまいりましたが、ここにさらに上位のプロフェッショナル認定を発表できることを大変喜ばしく思います。F I I Fでは、既にXMLマスター：ベーシックに関連して、「XML education」を開始しておりますが、XMLマスター：プロフェッショナルも取り入れ、取得者を増やし、日本の情報産業の進展に寄与したいと考えております。

株式会社 アットマーク・アイティ 代表取締役 藤村 厚夫 氏

XMLマスター：プロフェッショナル」認定制度の発足を歓迎します。株式会社アットマーク・アイティでは、ITエキスパートのためのWebサイト「@IT」を通じXML技術標準の普及を推進してきました。現在、@IT来訪者の関心は、基礎技術はもとより、Webサービスをはじめとする先端・応用技術へと、かつてない高まりを見せています。本制度が、わが国ITエキスパートの次なる“常識”となることを期待してやみません。

株式会社イー・ブリッジ 取締役コンサルティング本部長 岡部 恵造 氏

株式会社イー・ブリッジでは、今回、XMLマスター認定制度に上位レベルの制度が発足したことを歓迎致します。我が国でも、インターネットを活用したビジネスの高度化の取り組みが各産業界で既に始まっており、その中で益々重要性が増しているXML技術を巧みに扱える優秀な技術者の育成が急務となっています。日本の産業界の再生にとっても、必ずやこの上位認定制度の取り組みが一助となるものと大いに期待しております。

インフォテリア株式会社 代表取締役社長 平野 洋一郎 氏

インフォテリアは、これまでXML技術の実ビジネスにおける普及に積極的に取り組んでまいりました。企業間取引や電子政府、そして数々のWebサービスといったXML技術をベースとした社会インフラの整備が進むに伴い、XMLに長けた技術者の充足と、レベルの向上が不可欠となっています。このような社会情勢のなか、XMLの基礎技術を幅広く認定する「XMLマスター：ベーシック」に加え、アプリケーション開発に必要な高度な技量を客観的に測るモノサシとして「XMLマスター：プロフェッショナル」が始まることは、単に個々のエンジニアや企業の役に立つだけでなく、社会ITインフラの向上に寄与できるものと期待しております。

株式会社ウチダ人材開発センタ 代表取締役副社長 高橋 哲夫 氏

株式会社ウチダ人材開発センタは、IT技術のみならずヒューマンスキルまでの幅広い研修を取り揃え、技術者成長支援のためのベストプラクティスを提供しています。

「XMLマスター：プロフェッショナル」の発足により、普及期に入ったXML技術の明確な指標ができ、XML技術の一層の浸透と技術水準の向上に大きく貢献することを期待いたします。

NRIラーニングネットワーク株式会社 代表取締役社長 杉山 由高 氏

ベンダーニュートラルなXML技術を認定する「XMLマスター」の上位認定がいよいよスタートすることを歓迎しております。XMLは、すでにシステム構築において深く浸透し、利用が拡大しています。その中で、今後SI企業やエンジニアには、いかにXMLを使いこなせるかが課題となっていくと思われます。この「XMLマスター・プロフェッショナル」が実践的なXML技術を持つこと・活用できることの証として、広く認識されていくでしょう。この認定の普及とともに国内のエンジニア全体のスキルが底上げされることを期待しております。

NEC Eラーニング事業部長 奥 峰夫 氏

NECは、「XMLマスター：プロフェッショナル」資格の誕生を歓迎いたします。XMLの技量を測るものさしとして唯一のオープン資格である「XMLマスター」に、上位認定制度が加わるということは、eビジネスやeガバメント等のXMLが適用されるソリューションを提供する弊社ならびに関連協力会社のSEにとって、ユーザ企業様への技術力のアピールや、自己スキル向上の目標になるものとして大いに期待しております。

NECソフト株式会社 i サービス事業部 事業部長 堀江 進 氏

XMLマスター上位資格の発足を歓迎します。これによりXMLの高度技術者に必要なスキルが明確になり、現場で活躍できる上位レベルのXML技術者の育成が加速して、事業拡大に繋がる事を期待しています。NECソフト株式会社では、IT企業を中心としたXML技術者のスキルアップや資格取得推進を弊社XML教育を通して支援していきます。

株式会社大塚商会 取締役 Web業推進部長 塩川 公男 氏

株式会社大塚商会では、XMLマスター：プロフェッショナル認定制度の発足がユーザ企業様のXML技術によるシステムの実装をより加速させるとして歓迎致します。XMLによるシステムは、ロゼッタネットやWebサービス等の普及によって既に多くの企業に導入されていますが、高度な実装技術の認定を目的としたこの制度はSierのSE技術の研鑽のみならずユーザ企業さまのシステム御担当者にも広くXMLをご理解いただく良き機会と考えます。

株式会社キャリアデザインセンター 『エンジニアtype』編集長 鈴木 義男 氏

B2B や電子政府など、データ交換におけるXMLの重要性はますます高まっています。“わかる”だけではなく、“どのように“使う”のかという段階に入ったといえるでしょう。実際に企業が求めるのは“使える”技術者。XMLマスター：プロフェッショナルは、技術レベルの目安だけではなく、キャリアアップにおいても大きな武器になるでしょう。

グローバルナレッジネットワーク株式会社 代表取締役社長 尾藤 伸一 氏

グローバルナレッジネットワーク株式会社では、XMLマスターの上位資格「XMLマスター：プロフェッショナル」が発表されたことを歓迎いたします。今後、E-Businessをはじめミッションクリティカルな分野で、より実践的なXML技術がさらに求められ、高度なXMLスキルを必要とするエンジニアにとって本資格は明確な指標となるものと思います。弊社は、既にXMLマスター：ベーシックの育成を支援するための2種類のeLearning教材(eXPRESS TRAIN, eGES)を開発、9月より販売開始予定ですが、この上位資格においてもお客様のご要望にお応えしていきたいと考えております。

サン・マイクロシステムズ株式会社 iForce推進統括部

ディベロッパー・リレーションズ 部長 刀根 繁 氏

サン・マイクロシステムズでは、業界標準のXML技術を認定する上位レベルの制度が発足したことを歓迎いたします。プログラムのポータビリティを実現するJavaテクノロジーとデータのポータビリティを実現するXMLをWebサービス構築における中核技術と位置付けております。XMLマスター：プロフェッショナルの開始によりWebサービス構築の現場で即戦力となる技術レベルを持ったエンジニアにとって明確な指標となるとともに、ユーザー企業に高度な技術提供をアピールできる制度として期待しています。

シーアイエス株式会社 ナレッジアカデミー 統括 開沼 広明 氏

シーアイエス株式会社では、XMLマスター：ベーシックより、「資格取得者」の支援にトレーニングベンダの立場で従事してまいりましたが、いよいよ本格的にシステム構築での必要なスキルを認定するための、上位資格ができたことを心から喜んでおります。XMLマスター：プロフェッショナルがXML技術のデファクトスタンダードとなっていくことを切望しながら更なる支援を続けてまいります。

株式会社システム・テクノロジー・アイ 代表取締役社長 松岡 秀紀 氏

株式会社システム・テクノロジー・アイは、XML技術の上位認定制度「XMLマスター：プロフェッショナル」が発足されたことを歓迎致します。この発足が、より高度で即戦力となる技術力の具体的指標となり、技術者の意欲を更に高め、同時に業界全体を新たに活性化する流れとなることを確信しております。弊社は、以前にも増して高度なスキル取得の支援を当社製品を提供し全面的に致します。

スルガ銀行執行役員 ダイレクトバンク 支配人 森 延夫 氏

ITエンジニアをサポートするスルガ銀行エスイーバンク支店では、ベンダーニュートラルのXML技術を認定する上位資格の制度が発足したことを歓迎します。当社では知識(レベル)・スキルはエンジニアの持つ“固有の資産”と考えておりますが、本制度のレベルは、エンジニアの資産として高く評価できるものと認識いたします。この先、XML技術が本制度により更なる業界標準として拡充できる事を期待します。

株式会社セレブレイン 代表取締役社長 高橋 敦子 氏

市場価値が急速に高まりつつあるXML技術者の育成は、多くの企業で課題となっております。採用・人事戦略および人材育成等に関するコンサルティングを行っている当社では、このたびの上位レベルの認定制度開始により、さらに高度な技術を持った人材の育成が加速されるものと期待しています。

株式会社東芝OAコンサルタント 代表取締役社長 宮西 亮 氏

株式会社東芝OAコンサルタントでは、XMLマスター：プロフェッショナルの開始を歓迎いたします。XML技術者の育成は急務かつ必須であることを、技術者育成の場においても感じています。XMLマスター：プロフェッショナルの開始により、明確な技術力の指標となり、エンジニアにとっても企業にとっても有利な展開になると期待しています。

日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア事業部

エマージング・テクノロジー部長 田原 春美 氏

XMLマスター：プロフェッショナルの発表を心から歓迎いたします。日本アイ・ビー・エムは、XML技術の研究・開発を東京基礎研究所を中心に早くから取り組み、また、ソフトウェアやサービスについてもXMLを積極的に取り込み、先進的、且つ価値の高いソリューションの提供に努めてまいりました。XMLマスタープロフェッショナルの開始により、社会へのXML技術の理解と導入が加速され、私どものソリューションもより多くのお客様に貢献できるようになることを期待しております。

日本オラクル株式会社 執行役員 エデュケーションサービス本部長 武井 直 氏

日本オラクルは、XML というIT標準技術の上位認定制度発足を歓迎いたします。オラクル製品はこれまで、XMLを初めとした業界標準のテクノロジーにいち早く対応してきました。

「XMLマスター：プロフェッショナル」の開始により、実際のシステム構築に求められる、実用的かつ高度の知識を有するXML技術者が拡大していくものと期待しております。

日本ヒューレット・パカード株式会社 hp教育サービス事業本部 本部長 長坂 武夫

日本ヒューレット・パカード株式会社（以下、日本HP）は、XMLマスターの上位資格である『XMLマスター：プロフェッショナル』制度の発足を心より歓迎いたします。この上位資格により、より実践的なエンジニアのスキルと価値を明確に認定することができ、日本のIT普及の加速と関連ビジネスの推進力となるでしょう。hp教育サービスでは、一連のXML教育コースを提供することで『XMLマスター：プロフェッショナル』認定技術者の育成を支援いたします。

株式会社日本ライセンスバンク代表取締役 松田 直之 氏

(株)日本ライセンスバンクでは次世代標準言語として成長著しい XML 技術を認定する上位認定制度が発足したことを歓迎いたします。XML の企業システムでの活用能力を証明する上で、客観的な指標として普及していくものと考えます。弊社はリナックスアカデミーを通じ、XML 技術者の育成に取り組んでおりますが、これを機に XML 教育の更なる普及を期待しています。

株式会社パソナテック 代表取締役 森本 宏一 氏

株式会社パソナテックは、Webサービスの普及に合わせて需要の高まっておりますXMLエンジニアの創出・育成の観点より、XMLマスター：プロフェッショナル制度の開始を心より歓迎いたします。同制度の発足は、即戦力としてのエンジニアの技術レベルの認定・向上のみならず、エンジニアの裾野を広げ、深刻な技術者不足へのソリューションとなりますことと信じております。

株式会社PFU 専務取締役 岡松 正憲 氏

株式会社PFUでは、XMLをキーテクノロジーに企業内外のシステム連携を実現する「情報統合化ソリューション」をはじめ、XMLを活用したソリューションを提案し、各種システムに幅広く対応しています。弊社では、90名以上の技術者がXMLマスター：ベーシック資格を取得済みです。XMLマスター：プロフェッショナル資格は、高度なXML技術を持った技術者の指標となり、弊社のXML技術力をアピールできる資格として期待しています。

株式会社 日立システムアンドサービス 事業企画部 部長 石井 清 氏

日立システムは、今後のS I事業の鍵となる資格であるXMLマスターの取得に関して、全社を挙げて取り組んでおります。実用システムでのXMLの採用はここ1年で本格化しつつあり、更に最近ではWebサービスを利用した新たなシステム形態が注目されるようになってきております。XMLマスター：プロフェッショナルは、XMLデータ処理のプログラミングをはじめXML利用の高度な技術レベルを評価する資格であり、XMLの普及促進、システムの高度化/安定化に貢献していくものと期待しております。

株式会社日立製作所 情報・通信グループ 生産技術本部 本部長 原田 晃 氏

XMLは、B2B、Webサービス、官公庁等のEC分野のみならず、全てのデジタルデータの記述方法としても大きなインパクトを与える重要な要素技術として定着しつつあります。当社でもこうしたニーズに応えるXML応用システムの構築やソリューションを提供しており、XML技術者の育成を推進しております。今回のXMLマスター：プロフェッショナルが技術者にとっても最適な評価基準になるものと期待しています。

富士通株式会社 ソフトウェア事業本部 プロジェクトA-XMLプロジェクト長 弘末清悟

富士通株式会社は、XMLをインターネットの新たな展開のためのキーテクノロジーとして、平成13年4月にプロジェクトA-XMLを発足し、XMLの研究・開発・適用を推進しております。今回、XML技術者の上位認定制度「XMLマスター：プロフェッショナル」のスタートにより、システム技術者へのXML技術の普及とレベルの向上、ひいてはお客様のビジネスの発展に貢献するものと期待しております。

富士通オフィス機器株式会社 代表取締役社長 松尾 好洋 氏

富士通オフィス機器株式会社では、XML技術者認定制度XMLマスターの上位レベルの制度が発足したことを歓迎いたします。XMLマスター：プロフェッショナルは、e-Japanの実現、電子商取引の促進等XMLが利用される様々な社会的インフラ構築のためにエンジニアが目標とすべき認定制度であり、弊社としても、認定取得を目指すエンジニアの育成に少しでもお役に立てればと考えております。

株式会社富士通ラーニングメディア 取締役 研修事業本部長 今井 恒雄 氏

富士通ラーニングメディアは、XMLマスター：プロフェッショナルの認定制度が新設されることにより、XMLベースのシステム構築を支える技術者の育成に大きく貢献するものと期待しております。当社は富士通と協調し、実践的なXML構築技術普及のため、システム構築に関わる技術者の育成に取り組んでおります。既に、プロフェッショナル資格に関連した10コース以上の集合研修やeラーニングコースを提供しており、今後もXML技術者育成の推進に貢献していく所存でございます。

マイクロソフト株式会社 執行役員 三ヶ野原 敏郎 氏

マイクロソフトはXMLを技術的基盤としてインターネットをもっと人々に役立てる仕組みにできると考え、早期からXMLを最大の投資分野として研究を進めております。すでにMicrosoft .NET (マイクロソフト ドットネット)として製品への実装面で成果を積み上げつつありますが、同時にMicrosoft .NETを構成するコアの技術であるXML、あるいはWebサービス分野での高水準な技術者の育成についても早期に取り組むべき課題であると考えています。今回の認定制度拡充により、技術者の習得度を客観的に判断できる基準を設けることでソフトウェア技術者の育成が進み、XMLあるいはWebサービスが実際に実務面で利用されることに弾みがつくものと期待しています。

株式会社リクルート 『TECH B-ing』編集長 藤井 薫 氏

TECH B-ing編集部は、業界標準のXML技術を認定する上位レベルの制度が発足したことを歓迎いたします。ますます複雑化・変容化するシステム構築の現場において、継続的に戦力となる要素は、1)「社内価値を越えた広範な知識」、2)「実践に基づいた経験」、3)「最新スキル取得への向上意欲」の3要素といわれます。XMLマスター：プロフェッショナルが、継続的に活躍できるエンジニアの知識・スキル・意欲(=市場価値)を証明する指標の一つとして、認知・普及することを期待いたします。

以上